

『AV&IT 機器世界需要動向 ～2018年までの展望～』を発行

一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）CE部会では、平成25年度事業として AV 及び IT 機器の需要動向に関する調査を実施し、その調査結果を報告書に取りまとめ、『AV&IT 機器世界需要動向 ～2018年までの展望～』を発行すると共に、2月17日に会員向け報告会を開催しました（右写真）。

報告書の中から、フラットパネルテレビ、パーソナルコンピュータ、タブレット端末の国内需要について紹介致します。



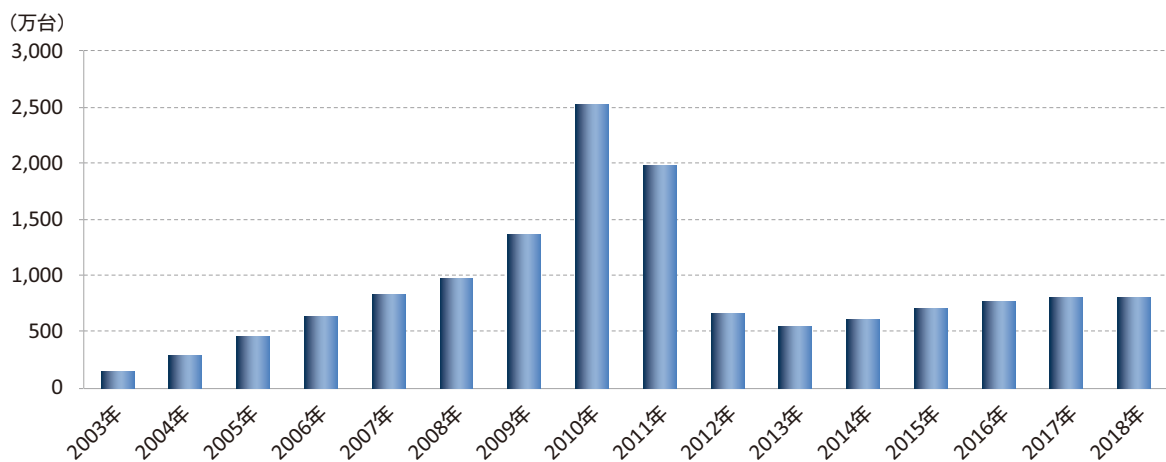
フラットパネルテレビ

フラットパネルテレビの世界需要は2013年に2億1,610万台となりました。2018年には2億6,501万台になると見込んでいます。日本では、2011年までの家電エコポイント制度による購入支援や地上デジタルテレビ放送完全移行に伴うテレビの買い替え・買い増し需要の反動は2012年単年では吸収できず、2013年は538万台と低い水準となりました。

今後は、デジタルテレビを早期に購入したユーザの買い替えや2020年東京五輪・パラリンピック大会に向けての需要増、並びに、ケーブルテレビ事業者によるデジ

アナ変換サービス終了（2015年3月末）に伴う需要増加が期待されることから、2018年には804万台と地デジ化特需前の水準に近づく見込んでいます。

また、2014年中に4Kの試験放送が計画されており、2020年の東京五輪・パラリンピック大会に向けて4K放送が拡充されると見られることから、2018年には4K（対応）テレビの国内需要は518万台に達すると見込みました（2013年は27万台）。

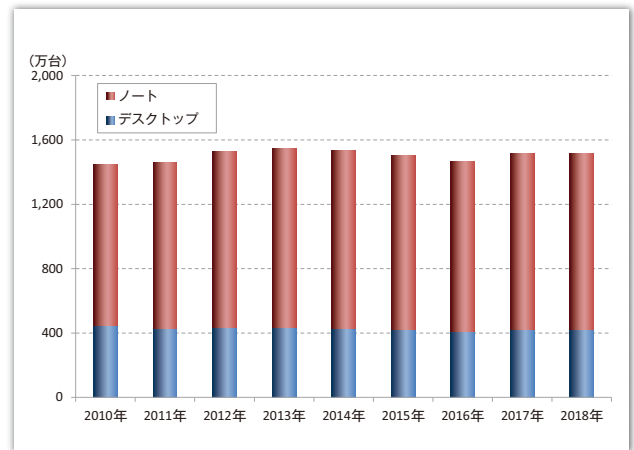


日本のフラットパネルテレビ需要推移 (万台)

パーソナルコンピュータ

2013年のパーソナルコンピュータ（PC）の国内需要は、2014年4月のWindowsXPサポート終了を控え、企業のWindows7へのリプレース需要が中心となり1,547万台となりました。

スマートフォンやタブレット端末台頭の影響は限定的で、使い分け・連動により利便性が高まるため、今後も需要創出の面において相乗効果が期待でき共存していく見通しであり、2014～2018年は1,500万台前後で推移すると見込んでいます。

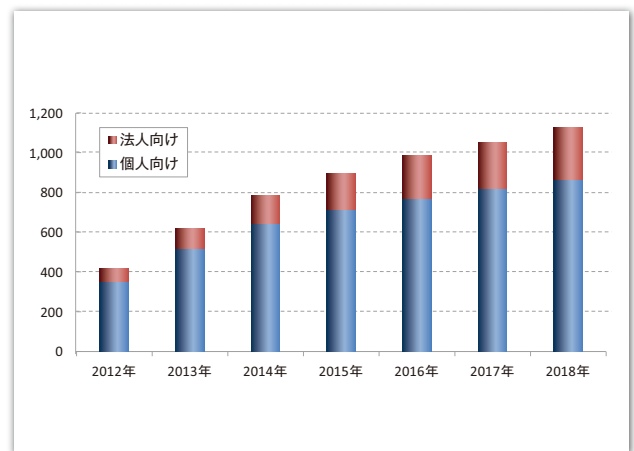


日本のPC需要推移 (万台)

タブレット端末

製品ラインナップが拡充されたことで、一般ユーザへの普及や企業における導入が進んできており、2013年のタブレット端末の国内需要は619万台となりました。無線LAN環境の整備や通信サービスの充実により普及が後押しされたといえます。

今後は、教育・医療現場などにおける導入により、2016年以降法人向けで更に普及が進み、2018年の需要は1,124万台と見込んでいます。



日本のタブレット端末需要推移 (万台)

「AV&IT 機器世界需要動向 ～2018年までの展望～」

2014年2月発行

JEITA CE部会が2012年度事業として実施した「AV&IT 機器世界需要動向調査」の報告書で、2018年までの需要動向とともに解説を掲載しています。

今年度は、フラットパネルテレビの内数として、新たに「4K（対応）テレビ」を追加、また、タブレット端末については、個人向け・法人向けに分けて調査（対象は日本のみ）するなど対象品目、並びに対象国を充実させました。

◆ JEITA HP よりご購入いただけます（会員 10,800 円／会員外 21,600 円）

<http://www.jeita.or.jp/>

